

県内企業景気動向調査報告（2024年1～3月期）

今期の「業況判断」は上昇、来期は下降する見通し

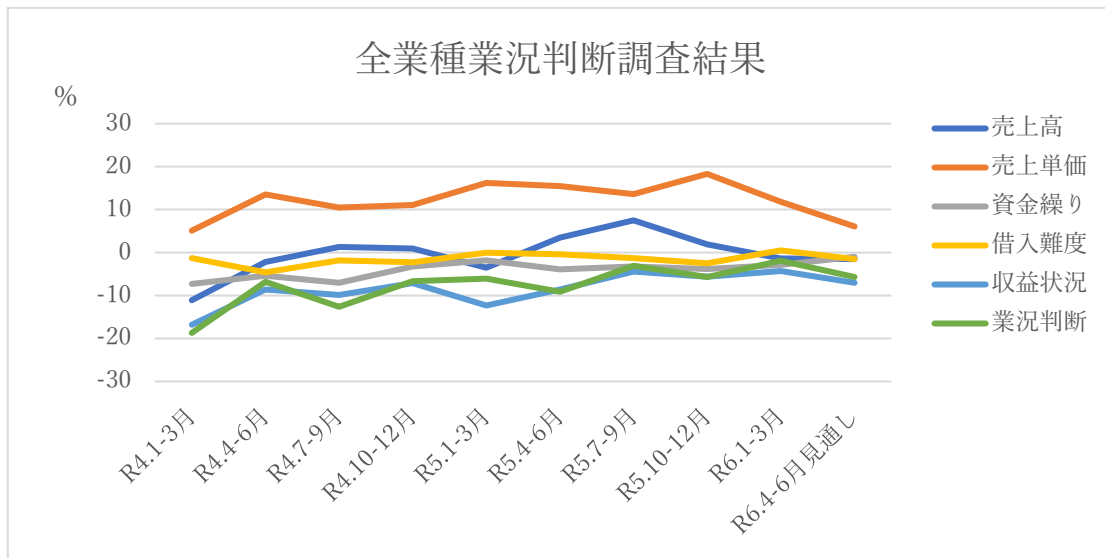
調査対象 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）

回収数 105社【製造業33社、非製造業72社（建設業21社、卸売業19社、小売業16社、サービス業16社）】

<今期・来期の状況>

全業種における今期の状況は「資金繰り」「借入難度」「収益状況」「業況判断」の4つの項目で前期よりも上昇している。最も上昇を示したのは「業況判断」で、前期から3.8ポイント上昇した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から5.8ポイント上昇、非製造業が2.2ポイントの上昇を示した。非製造業は建設業と小売業が上昇傾向を示しており、最も上昇が大きかったのは建設業で、前期から7.1ポイントの上昇となっている。

来期の見通しについては、「資金繰り」が上昇、「売上高」、「売上単価」、「借入難度」、「収益状況」、「業況判断」で下降が見込まれている。中でも「売上単価」は5.7ポイントと最も大きい下降が予測されている。業種別の「業況判断」では、建設業が上昇、製造業、卸売業、小売業、サービス業で下降する見通しとなり、最も下降が大きかったのは製造業の7.6ポイントであった。



業種	回収数	前年同期比*()内は2023.1~3月期の数字						来期(2024.4~6期)見通し*()内は前年同期の数字					
		売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	105	-14 (-35)	11.8 (162)	-2.9 (-1.8)	0.5 (0.0)	-4.3 (-12.3)	-1.9 (-6.1)	-1.5 (-2.7)	6.1 (14.5)	-1.0 (-3.6)	-1.5 (0.9)	-7.0 (-11.4)	-5.7 (-10.5)
製造業	33	3.0 (6.1)	16.7 (24.3)	1.5 (-4.6)	1.5 (-3.1)	9.1 (-16.7)	7.6 (-7.6)	3.0 (16.7)	9.1 (22.7)	3.1 (-7.6)	-1.5 (-1.5)	1.5 (-7.6)	0.0 (-7.6)
非製造業	72	-3.5 (-7.4)	9.6 (13.0)	-4.9 (-0.7)	0.0 (1.3)	-10.3 (-10.5)	-6.3 (-5.6)	-4.1 (-10.5)	4.7 (11.2)	-2.9 (-1.9)	-1.5 (1.9)	-10.8 (-13.0)	-8.2 (-11.7)
(建設業)	21	-4.8 (-22.0)	0.0 (-2.0)	-2.4 (2.0)	2.4 (4.0)	-16.7 (-16.0)	-9.6 (-14.0)	-7.2 (-26.0)	2.4 (-2.0)	2.4 (-4.0)	-2.4 (4.0)	-9.6 (-22.0)	-7.2 (-26.0)
(卸売業)	19	-7.9 (-5.3)	15.8 (31.6)	0.0 (-2.7)	2.7 (2.7)	-5.3 (-13.2)	-5.6 (-5.3)	-5.3 (-7.9)	7.9 (23.7)	0.0 (-2.7)	2.7 (2.7)	-7.9 (-15.8)	-8.3 (-7.9)
(小売業)	16	-9.4 (-8.4)	8.9 (11.1)	-11.8 (-2.8)	-9.4 (-2.8)	-14.8 (-16.7)	-8.8 (-8.3)	-15.7 (-5.6)	3.0 (13.9)	-9.4 (-8.4)	-6.3 (0.0)	-20.6 (-16.7)	-15.7 (-16.7)
(サービス業)	16	8.4 (10.5)	15.7 (15.8)	-6.7 (0.0)	3.4 (0.0)	-3.1 (5.3)	0.0 (7.9)	11.8 (2.7)	5.9 (13.2)	-6.7 (8.8)	0.0 (0.0)	-5.9 (5.3)	-5.9 (7.9)

BSI=1/2(X-Z)、X=上昇・増加、Y=横ばい、Z=減少・下降、ただし(X+Y+Z=100)

<直面している経営上の問題点>

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (20.13%)
- 2位：経費の増加 (14.85%)
- 3位：人手不足 (12.87%)
- 4位：売上・受注の減少 (11.88%)
- 5位：消費・需要の停滞 (10.56%)

<業種別の問題点等>

◆建設業

- ・人件費、原油価格、部品等の価格も2～3割上昇しており、工事単価に反映したいが、生コンクリートの大幅な価格上昇の煽りを受けて、圧送業者が単価引き下げを迫られる悪循環に陥っている。
- ・材料代の価格上昇が止まらない。上昇分が売上高に反映されない。能登半島地震の復興復旧が本格的に始まれば、益々価格が上がるのではと懸念している。

◆製造業

- ・餡原料価格が国産、海外産(特に白インゲン)ともに暴騰しており、価格転嫁が追い付かない状況で困窮しております。
- ・GX (グリーントランスフォーメーション) 対応が運営を圧迫
- ・後継者不足と人手不足
- ・機械化(更新含む)が急がれるが、補助金や助成金に合致するものが少ない

◆サービス業

- ・予約の間際化が進んでおり、予約日の直前に入る予約が増えています。そのため、食材等の調達や従業員のシフトにミスマッチが起りやすく、物価高騰により在庫を多く抱えるわけにもいかないため、対応に苦慮しています。